

2020.1.25
中央エリア第2回

未来デザインワークショップ

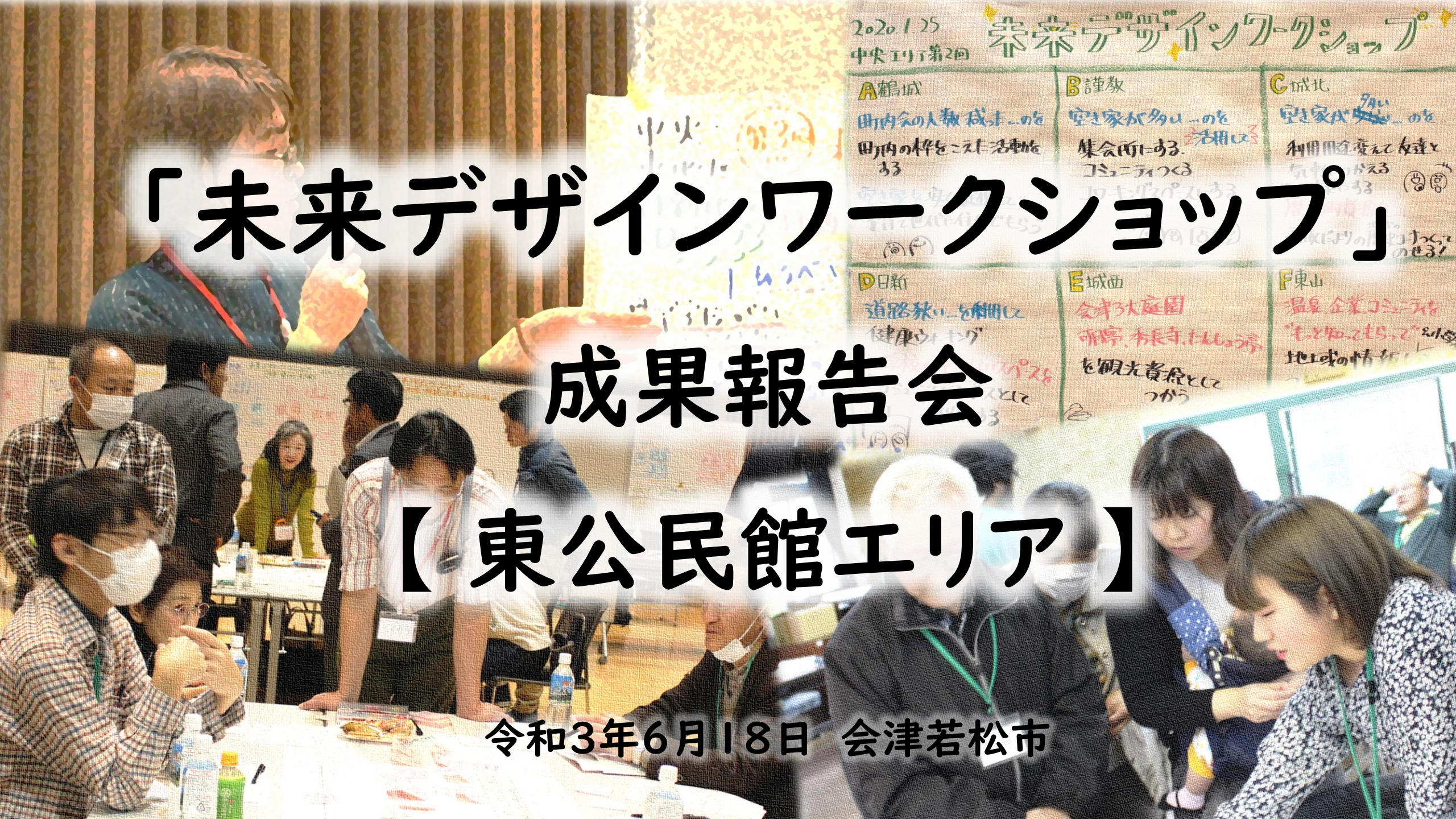
| | | |
|--------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| <p>A 鶴城 町内会の人数減少...のを 町内の枠をこえて活動 をおこす</p> | <p>B 謹教 空き家が多い...のを 集会所にある...活用 コミュニティつくる</p> | <p>C 城北 空き家代...のを 利用用途変えて友達 が来る</p> |
| <p>D 日新 道路狭い...を解消 健康ウイング</p> | <p>E 城西 会館3大庭園 町並、お茶室、お風呂 を観光資源として つかう</p> | <p>F 東山 温泉企業コミュニティ "もどか"と"さか"と 地域の情熱</p> |

「未来デザインワークショップ」

成果報告会

【東公民館エリア】

令和3年6月18日 会津若松市



はじめに

1. 取組の経過と目的
2. 東山地区の現状と課題（データ編）
3. 未来デザインワークショップ成果報告

はじめに

● 財務部 公共施設管理課の紹介

- ・ 平成31年4月設置
- ・ 旧建築課の営繕部門＋企画調整課の事務
- ・ 主な業務
 - ① 公共施設マネジメント
 - ② 建物系公共施設の設計、発注
各課の施設管理のサポートなど



はじめに

詳しくは別紙資料を
ご覧ください

- 「公共施設マネジメント」とは
 - ・ 市が所有又は管理する全ての公共施設等を、総合的かつ計画的に整備し、管理、有効活用すること

(要するに)

- 施設等を安全に長く使う
- 施設等を誰もが使いやすい状態に保つ
- 施設等を100%利用する（サービス向上）

限られた財源
の中で実施

1. 取組の経過と目的

1. 取組の経過と目的

- 現在、市では、公共施設マネジメントの取組として、将来のまちづくりを見据えた、施設の有効活用や再編を進めるための計画として、
「公共施設再編プラン」の策定を進めています。
- この「公共施設再編プラン」の策定にあたり、昨年度から地区ごとに地域の現状や課題、目指したい将来像、実現に向けてできる取組などについて、地域の方と一緒に考えてきました。

(参考) 「公共施設再編プラン」の概要

- 「公共施設再編プラン」とは、建物系公共施設(ハコモノ)について、次世代に過度な負担を残さないよう、用途(サービス)別及び地域別に、10~20年後を見据え、将来の行政サービスの維持に向けサービスの組み換えや柔軟な利活用、管理運営の方法の見直し、総量の適正化といった取組の考え方や検討の進め方、スケジュールなどを示す、まちづくりの実施計画です。

※5年程度で見直しを行いながら長期的に取組を推進(10~20年後の将来を見据えながら取組む)

1. 取組の経過と目的

● 検討の様子

多くの方が参加できるように、希望者を募り、ワークショップ形式で意見やアイデアをまとめました。



1. 取組の経過と目的

- 本日は、その成果を振り返りながら、地域活動の中心的な役割を担う皆様と一緒に、ワークショップにおける意見やアイデアの実現のために、必要となる取組や解決すべき課題などを、より具体的に掘り下げていきます。



その結果を「公共施設再編プラン」に取り入れ、今後の、「地域づくり」や「地域の施設活用」といった具体的な取組に活かしていきます。

検討の成果は、他の部署とも共有します

1. 取組の経過と目的

- 「公共施設再編プラン」により各地域で進めていく取組のイメージ

【先進事例：長野県小布施市】



例1：「北斎館（美術館）」周辺の環境整備

住民主体（3個人、2事業者、市）で土地の交換や賃貸者等を行い、国の補助金を使わずに回遊空間を整備 【小布施方式】



例2：「まちじゅう図書館」

店舗や個人宅に仕事や趣味の本などを設置し、市民や観光客に提供。読書を通じたまち歩きや交流の場を創出。

1. 取組の経過と目的

- 「公共施設再編プラン」により各地域で進めていく取組のイメージ

【市内の取組事例】

- ・ 既存の施設の使い方を見直し、地域の活動や活性化の取組へ活用



例1：支所の会議室で公民館活動を実施（北会津地区）



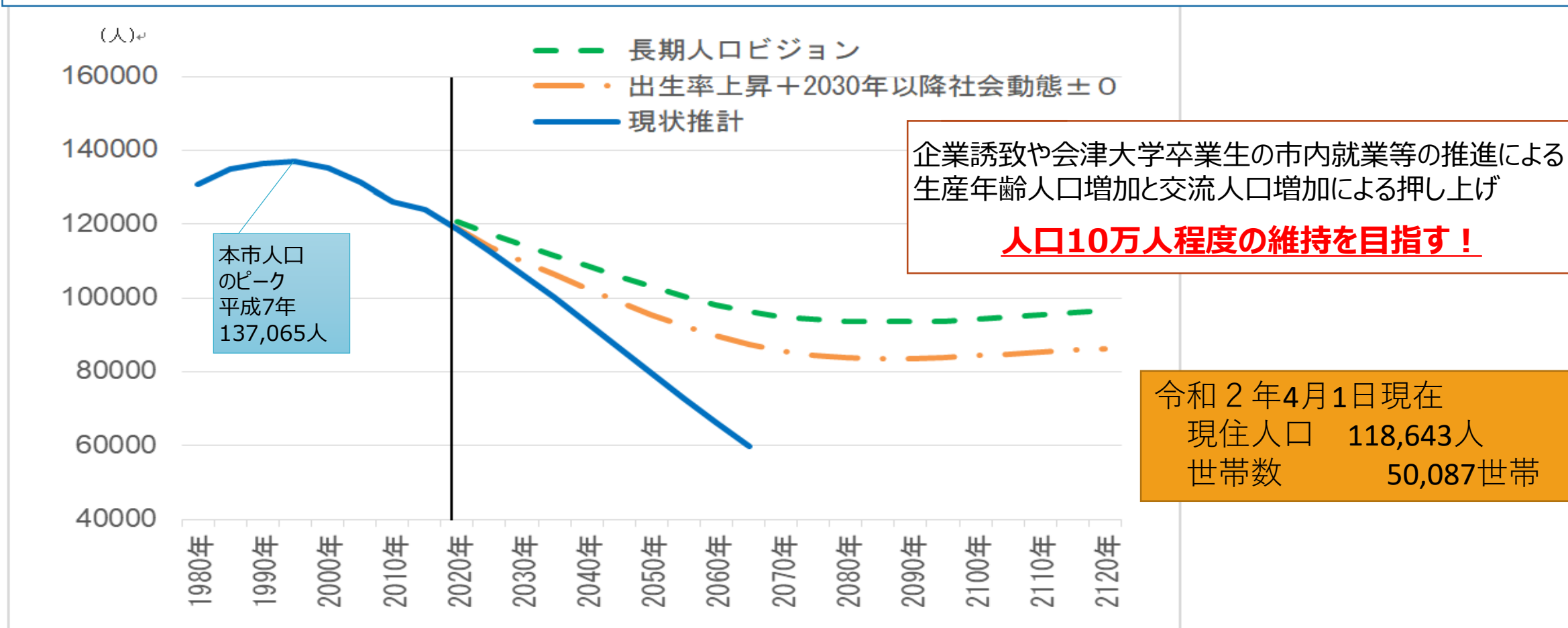
例2：公共施設（基幹集落センター）で地域の案内所を運営（湊地区）

2. 東山地区の現状と課題 (データ編)

2-1 会津若松市の人口（将来推計と目標）

■今後の人口推計

今のペースで人口が減っていき、2040年には人口10万人を切り、2060年には約6万6千人まで人口が減ることが予測されています。そのときの高齢化率（65歳以上の人口割合）は46%に達し、令和2年4月の高齢化率（約31%）を大きく上回ることが想定されます。

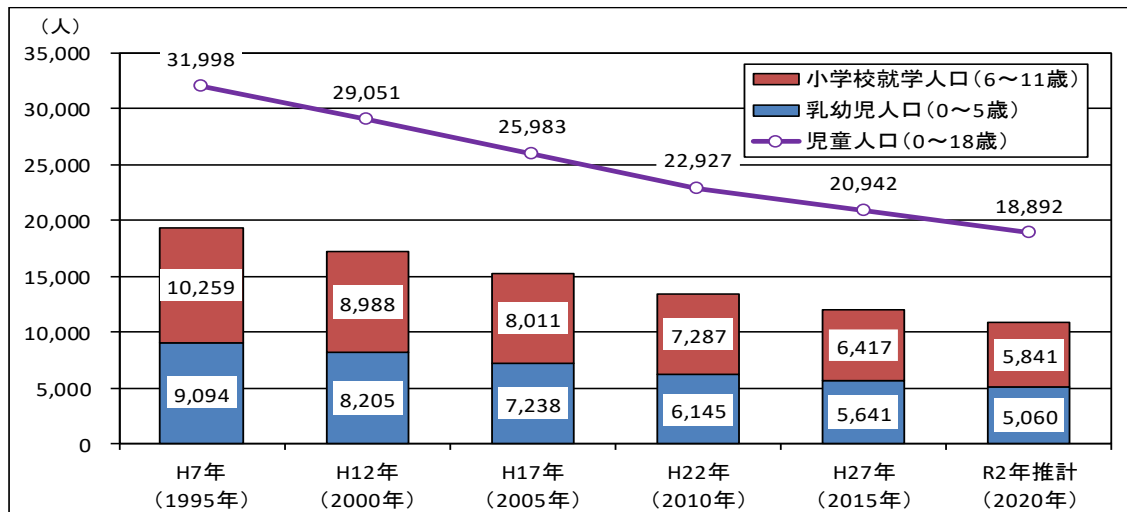


※出展：「第2期会津若松市 まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」

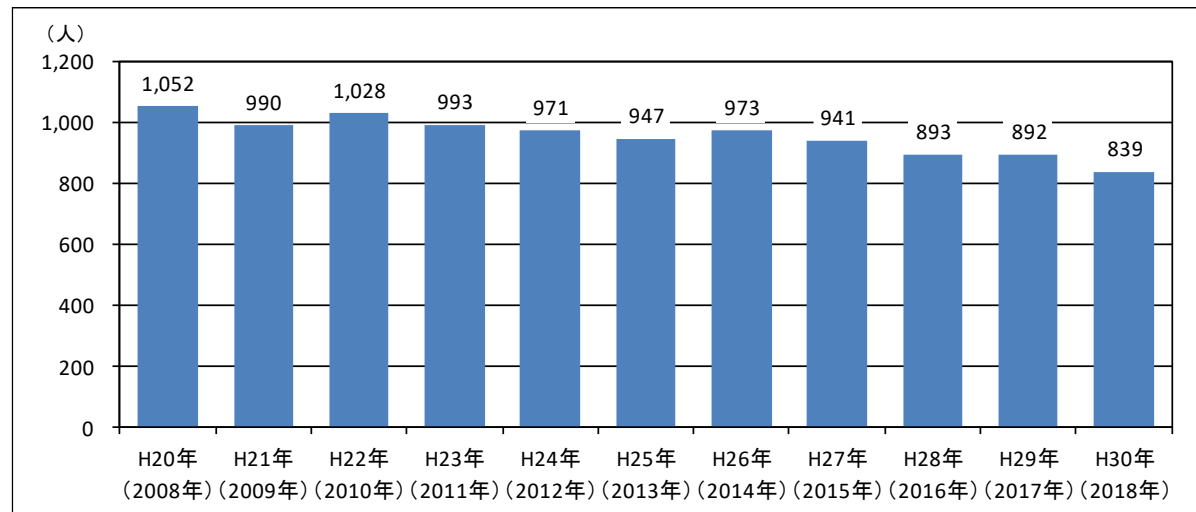
2-2 会津若松市の人口（子どもの状況）

出生数は減少傾向であり、子どもの人口（0～18歳）も徐々に減少しています。

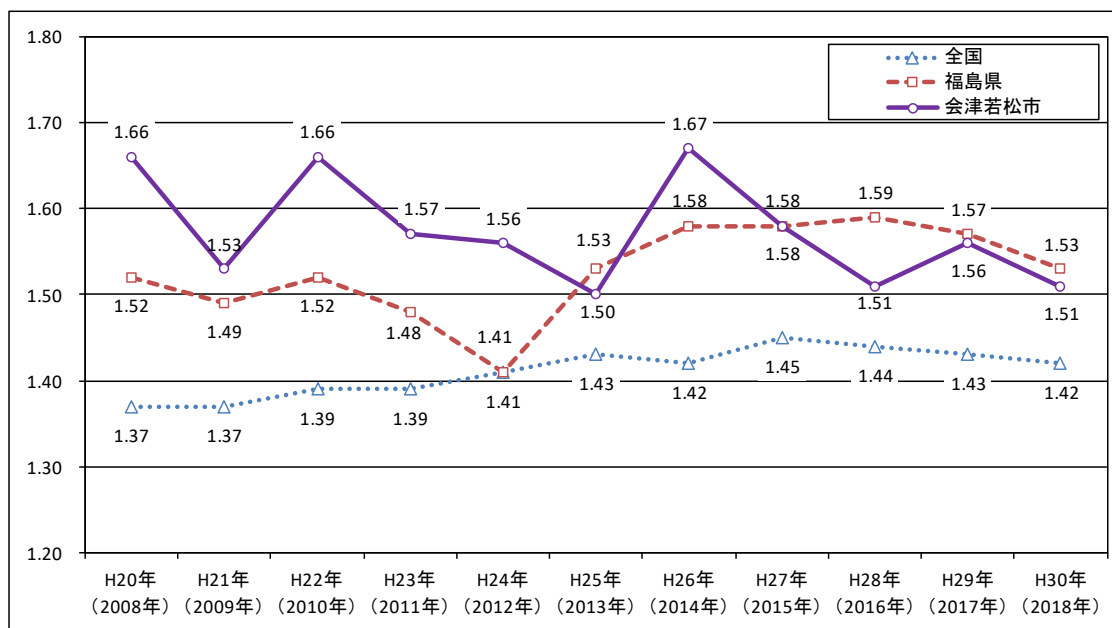
このまま減少が続くと、地域の活力が失われ、子育てを支援する地域コミュニティの維持も厳しい状況となることが懸念されます。



子どもの人口（0～18歳）の推移

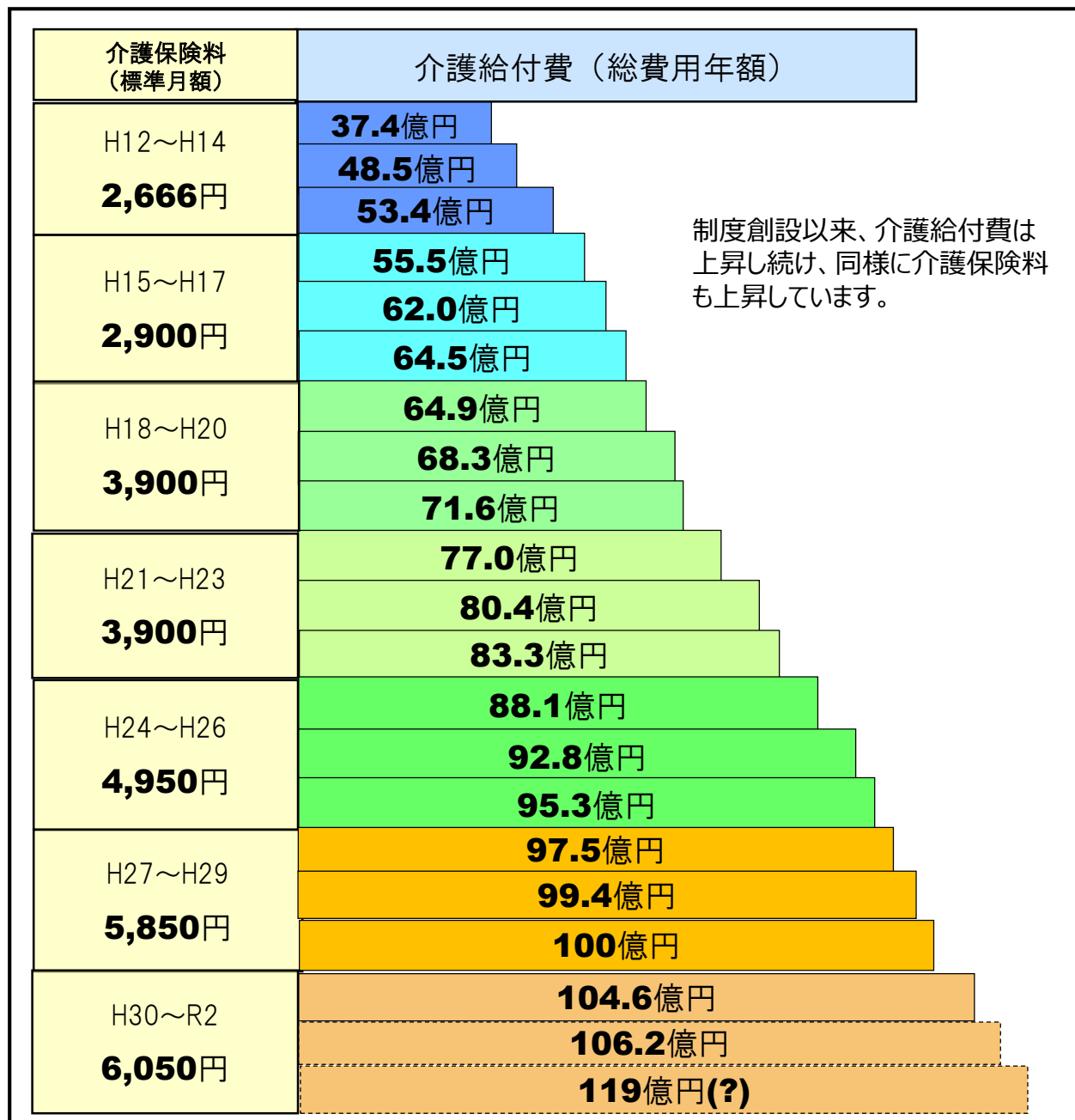
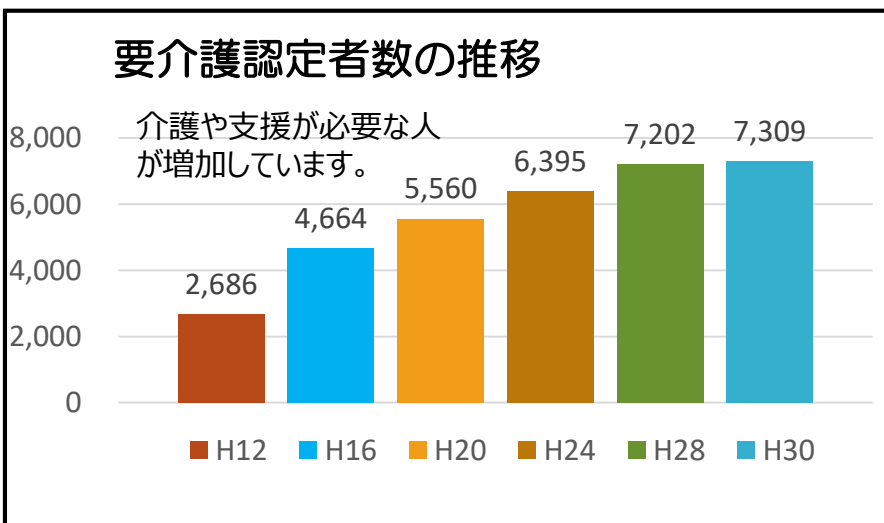
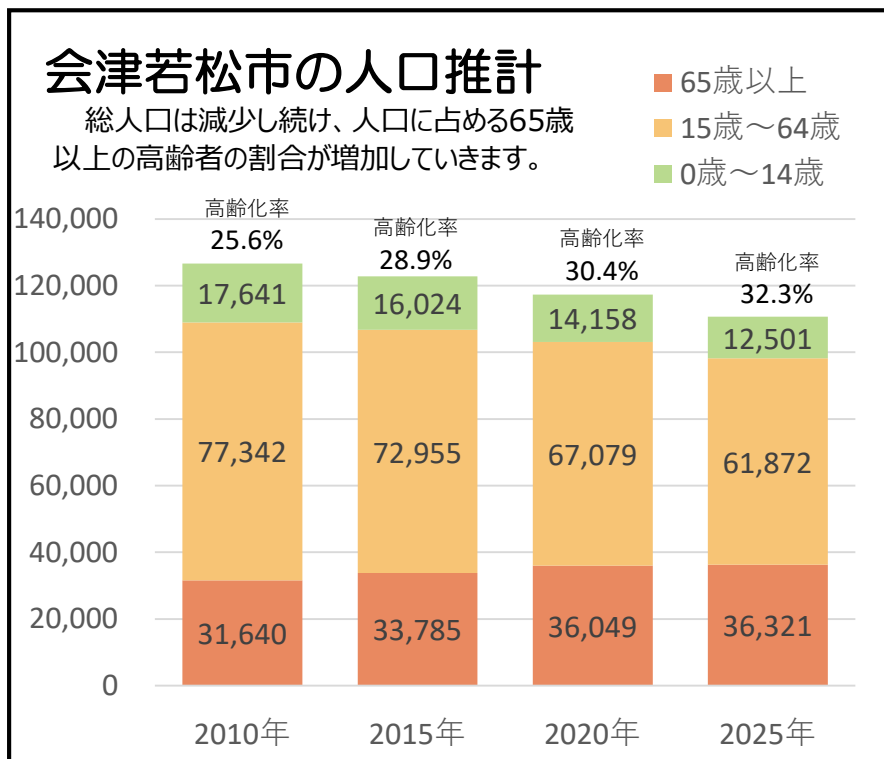


出生数の推移

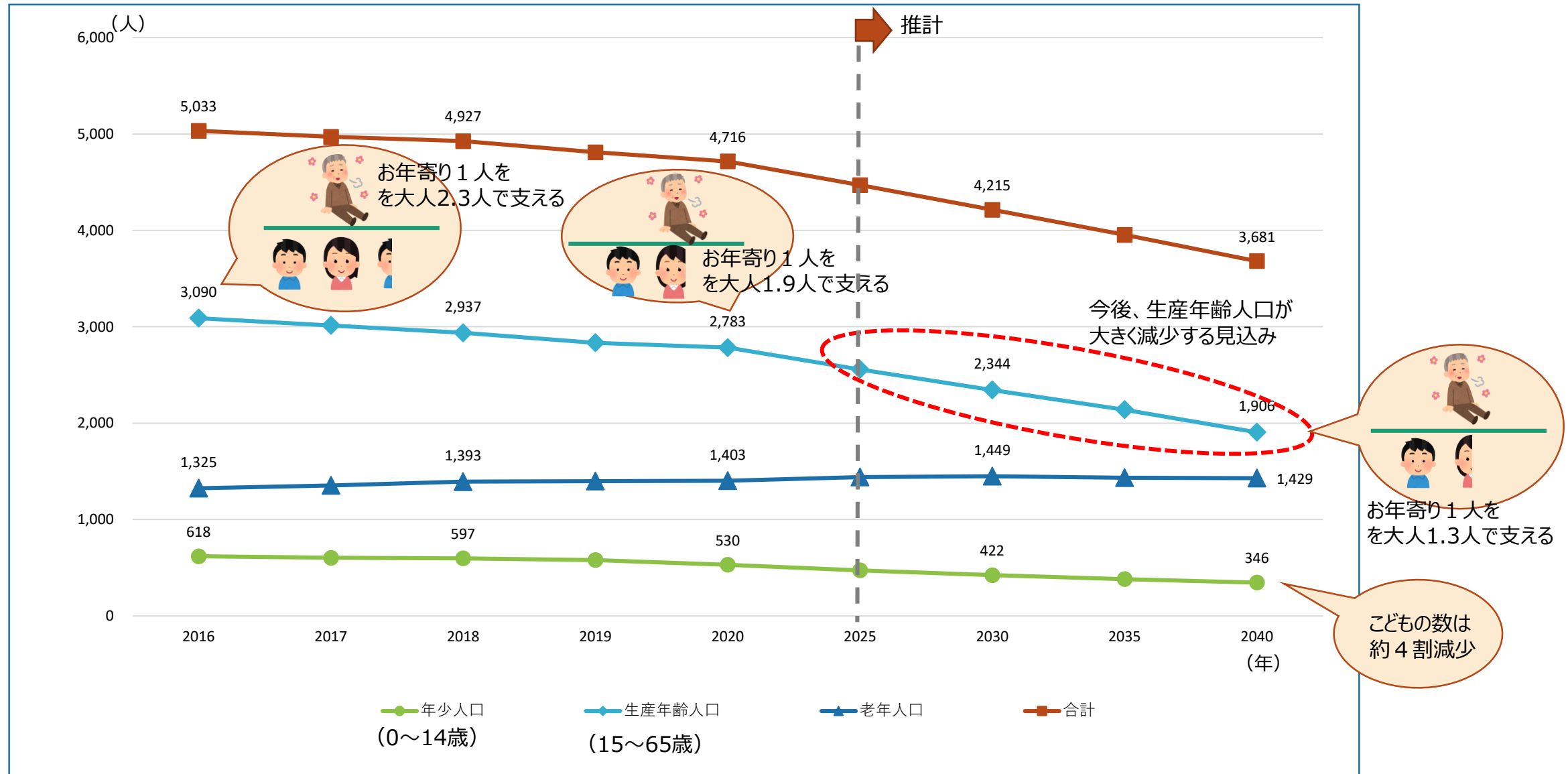


合計特殊出生率の推移

2-3 会津若松市の人口（高齢者の状況）



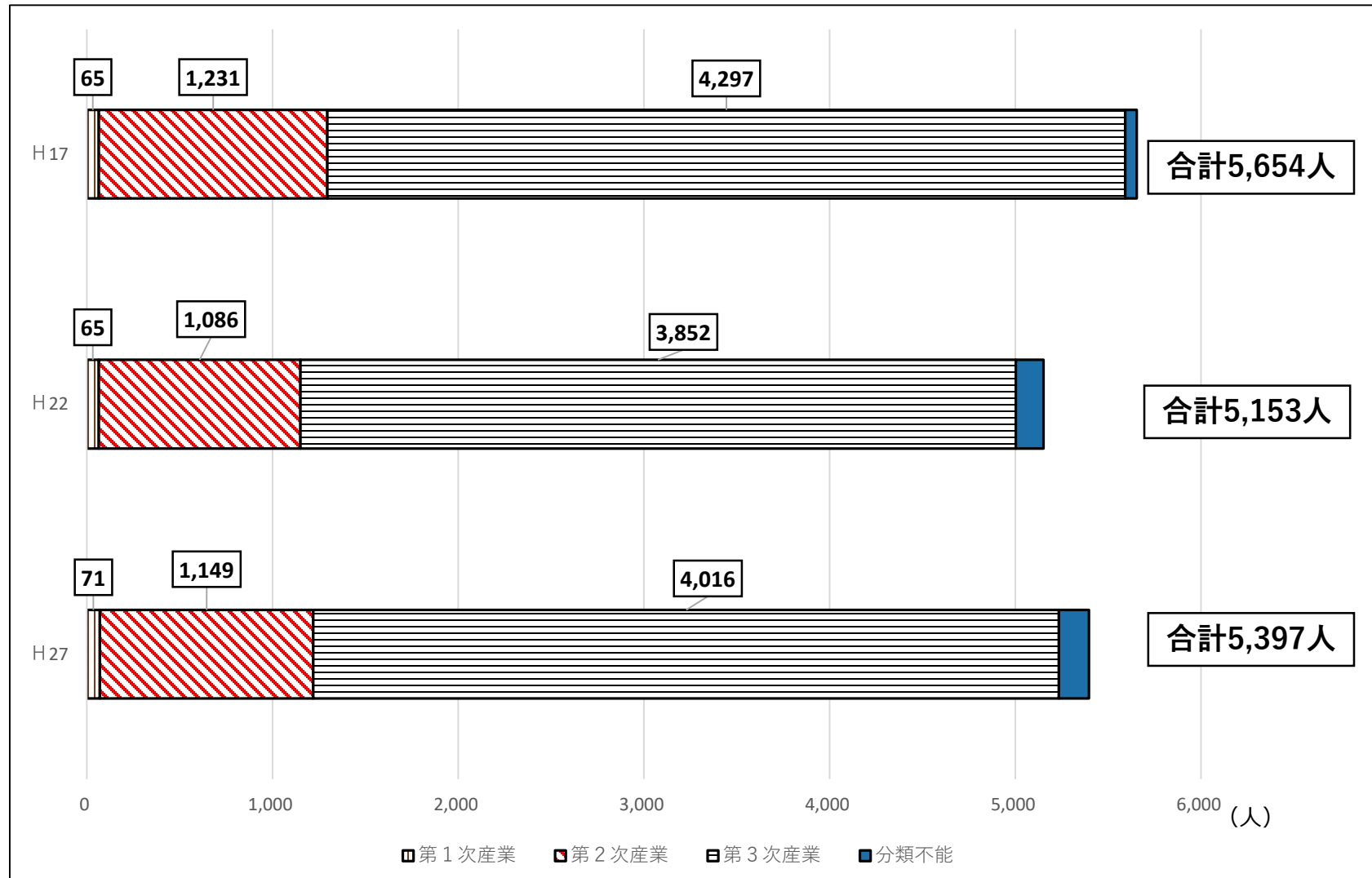
2-4 東山地区の人口（世代別人口推移）



※各年の人口は1月1日時点の地区別1歳毎住基人口データから算出

※推計人口は「第2期会津若松市 まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」の単純推計値より算出

2-5 東山地区の産業（産業分類別就業者数の推移）



就業者数はほぼ横ばい
&
産業構成もほぼ変化していない



**一次産業の高齢化
二次・三次産業の方
の地域への参加が課題**

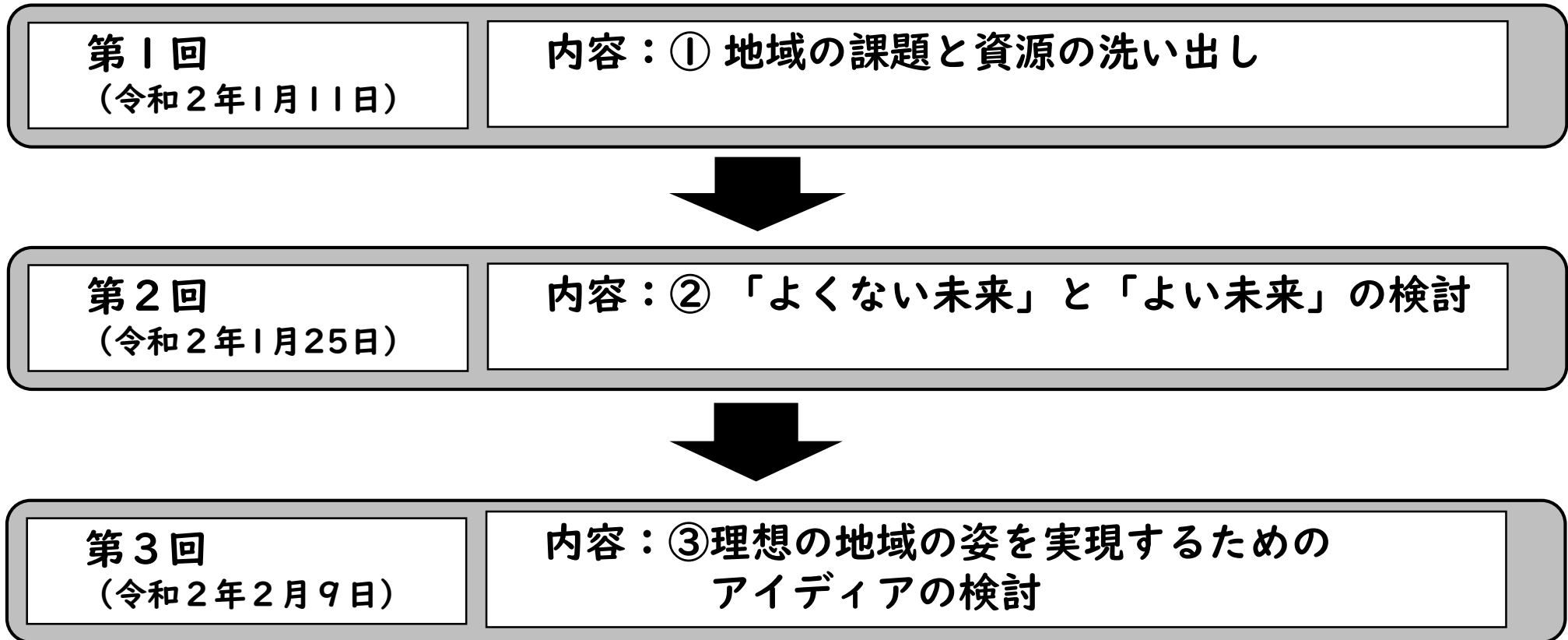
※データは国勢調査結果（産業別15歳以上就業者数：東山温泉・飯盛街道周辺地域周辺地域）より作成

3. 未来デザインワークショップ 成果報告

【 東公民館エリア 】

3-1 ワークショップの内容

- ワークショップでは以下のテーマについて全3回で検討



3-2 ワークショップの成果

① 地域の課題と資源の洗い出し

【主な地域課題】

- ・ 子どもの減少
- ・ 住民同士の交流機会の減少
- ・ 町内会役員等のなり手不足
- ・ 空き家の増加、公園や史跡の有効活用 など

【主な地域資源】

- ・ 観光客が多い
- ・ 地域がきれい（清掃活動など）
- ・ 施設が充実（温泉、飲食店、銀行など）
- ・ 自然や歴史（松平家墓所、武家屋敷、御薬園、東部公園など）
など

3-2 ワークショップの成果

② 「よくない未来」と「よい未来」

【よくない未来】（このまま何もしないとどうなるか）

- ・ 地域に仕事があるのか
- ・ 子ども会がなくなる
- ・ 地域の交流がなくなる など

【よい未来】（目指したい将来の地域の姿）

- ・ 観光産業の振興
- ・ 支えあう地域社会
- ・ 温泉と地域コミュニティとの連携
- ・ 学校の利活用、教育の場としての寄合い など

3-2 ワークショップの成果

③ 理想の地域の姿を実現するためのアイデア（主なもの）

- ・ 温泉の活用

⇒ 地域サロンや学校の授業、仕事場として温泉を活用

※ 温泉組合との連携

- ・ 空き家の活用

⇒ 行政や会津大学などと一緒に、空き家の情報収集、発信
活用を推進

- ・ 背炙りの景観の活用

⇒ 立木の整理や展望台の設置など

など

第2回 未来デザインワークショップ

2020/1/25

～地域の施設の未来をデザインする～

『東山』

目的: 未来に対する理想を可視化と
こんな風にはなりたくない未来の可視化

よくない未来

仕事

若松市内外
の仕事にあ
るの不安

☹️
☹️
☹️

温泉
地味
位置
断絶

子供の存在が
あふない!!
少子化

コミュニティ

健康

米前院以外
に地域に
定着した研究

よい未来

仕事

付加価値の
高い産業
(観光)

温泉

観光客のため
お財布はるい
地域の温泉

温泉施設
と地味な温泉
サービスの寄り
添い

教育

教育の
引継ぎ
道心場

教育活動
の場の創出
学校利用方法

お互い様
支え合い
ゆる三軒
両隣!

災害があっても
大丈夫と思える
安心感

高齢者の行く場所
がある。交通機関が
新しい到着の場所が
ある!

20年後の未来

地域コミュニティを活性化

させるために空きスペースを利用

情報発信!

グレートフルサワ

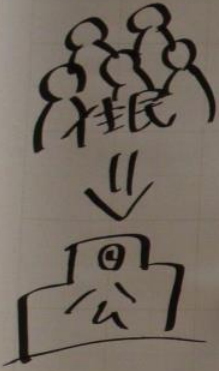
第3回
中央エリア
2020/2/19

未来デザインワークショップ

～地域の施設の未来をデザインする～

F 東山
地区

あるべき姿



温泉を活用
したい...

空き家をもと
使えたい...

背あふりの景観を
活かしたい...

雲海が!

地域サロンの
東山温泉
バス行き
低額利用
プラン

温泉
work
office

小学校で
温泉の授業
箱の交換
温泉組合
との
連携(訪客)
(PR等)

空き家の
情報の収集
と発信
(公共で)

② 空き家と
若者に貸し出す
様に公共で
加わって行け
る!

空き家
調査

会津大で
アプリの開発
(学生にやって
もらう)

背あふりの
景観
展望台の
設置

立木の整理
眺望を阻害
するので...

展望施設の
運営
(住民可能)

新しいものを
集めたい
住みよく
魅力的な東山!

今の場所を
取り入れ

×会津大
(だれもやらない!)

温泉への交通を!
誰が行けるか!

小学校の
学習に
取り入れ!

会津大と
コラボ!

雲海が
見える!!

東山温泉
ビジョン23
をつくる!!

